

議会だより

No.60

平成19年[2007]  
2月1日発行

# かがみより

さわやかに歴史と未来の出逢うまち



上郡のマスコットキャラクター  
円心くんとエイトちゃん

12月定例議会の報告

18年度補正予算

国民健康保険税見直しなど P2

委員会報告

町税徴収状況など

P4

一般質問

選挙公約を中心に11人が

町政を質す

臨時議会がありました



ことしも げんきに

# きまりました

## 12月定例議会



定例議会が、12月14日から21日まで8日間の会期で開催されました。諸報告に続き、同意、財産処分、工事請負変更契約締結、出訴、職員退職手当組合を

組織する団体の数の増減及び規約の変更、県後期高齢者医療広域連合の規約制定の各案件、条例の一部改正2件、補正予算6件、合わせて14件が、また追加議案として千種川床上浸水対策緊急事業特別委員会の設置及び委員の選任についてが上程され、慎重審議の結果、すべて原案通り可決しました。さらに11名の議員が町政に一般質問しました。

### 山野里工業団地用地をシーダム株に分譲

面積	9,237.56㎡
目的	団地用地の分譲
価格	1億4,318万2,180円 (15,500円/㎡)
相手方	シーダム株式会社

※1月頃に入金の確認後登記申請を行なう予定です。

### 町営住宅第二工区建設工事請負変更契約を締結

目的	自転車転倒防止用ストッパーの設置
金額 変更前	5億4,600万円
変更後 (増)	5億4,919万3,050円 (319万3,050円)
相手方	株式会社 神崎組

#### 質疑

第一工区分も含まれているが、合法か、もっと安価で有効な方法があるはずとの意見が出しましたが、賛成多数で可決しました。

### 兵庫県後期高齢者医療広域連合の規約を制定

兵庫県内のすべての市町で後期高齢者（75歳以上）医療に関する事務を処理するため、広域連合を設置する規約を定め、これに伴い従前の老人健康医療制度は廃止になります。

#### 質疑

制度変更の理由・メリット・保険料と負担割合・医療保障の確保等についての質疑が交わされました。

結果において保険料・医療保障の確保については従前と変わらないこと、医療を受ける人々にとって、不安が無いことを確認した上で賛成多数で原案どおり可決しました。



# こんなことが

## 付託審査・厚生経済常任委員会

### 国民健康保険税アップに！

医療費及び介護納付金の負担増加に対応するため賦課割合を見直すものです。

医療分		
	改正	改正前
所得割	8.9/100	6.9/100
資産割	10/100	20/100
均等割	27,000円	25,000円

介護納付金分		
	改正	改正前
所得割	1.65/100	0.95/100
資産割	8,400円	5,600円
均等割	3,900円	3,200円

平成17年度において、加入者一人当りの医療費は県下で第2位と高く、また介護納付金も近年相当な増加となっています。保険税が不足しているため、基金の取崩しや一般会計繰入により赤字補填を行っています。国保運営協議会からの答申をふまえ、さらに保険税滞納状況の報告を受け審査を行いました。

当委員会において被保険者の滞納対策等に係る明確な方針を構築すること並びに町民への十分な周知を行うことを厳重に申し入れ、慎重に審議した結果、健全な事業運営のため改正は止むを得ないものと判断し、原案可決すべきものと決しました。本会議においても賛成多数で原案どおり可決しました。

### 消防団員等公務災害補償の基準を条例から規則に改正

非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める条例を一部改正し規則で定め、機動的な対応を可能とするものです。又、障害者自立支援法の施行に伴い、障害者支援施設に準じる施設を規則で定めるものです。

当委員会において、慎重に審議した結果、原案可決すべきものと決しました。

本会議においても全会一致で原案どおり可決しました。

### 予算の補正

一般会計・特別会計で予算の補正を行い総額で4億8千21万千円を増額しました。

会計別補正		(単位千円)
一般	会計	125,425 (増)
国民健康保険事業		85,112 (増)
老人保健医療事業		125,422 (増)
介護保険事業		1,372 (増)
山野里工業団地造成事業		142,690 (増)

### 固定資産評価審査委員会委員の同意

上郡町固定資産評価審査委員会委員の正木巧氏が平成19年1月23日付で任期満了となり、後任として西川省三氏を選任したく提案され全会一致で同意されました。



住所 上郡町尾長谷1  
氏名 西川省三

昭和18年1月14日生

### お礼

任期満了で退任されました正木巧様、永きにわたりご尽力いただきありがとうございます。



# 委員会報告

総務文教常任委員会

## 18年度上半期の町税徴収状況

(前年同期比較)

町民税	0.52%(増)
固定資産税	0.41%(増)
軽自動車税	0.29%(増)
町たばこ税	0.11%(減)
都市計画税	2.69%(減)
国民健康保険税	0.30%(減)

国保税の徴収率が低いことや徴収員の成果についての質問に対し、かなりの成果を上げているとの報告であった。国保税の改正については、地方分権に伴う税源移譲により財源確保の上からも滞納には厳重に対処するように申し添えた。

### 上郡中学校移転の進捗について

関係者等と協議しながら、各施設の配置図など詳細について検討を進める予定。風水害等災害時の対応策を含め、進入路や側溝など周辺整備を検討している。

### 通学(園)区域の設定に関する規定の改定

科学公園都市学校事務組合において、中高一貫校の開校に伴い播磨校区外、区域外就学の変更を認める許可条件緩和の改定が行われた。

## 土木・水道常任委員会

### 上下水道課発定

10月1日付で、水道事業所と下水道課が統合され、正職員12名、嘱託職員1名、専門員3名の16人体制で業務を行うっている。

### 与井・赤松両水源池の紫外線処理へ変更の認可申請予定

与井と赤松の両水源池を紫外線処理に変えるため、変更認可申請をする作業を行っている。

厚生労働省は紫外線処理をクリプトスポリジウム対策として認める予定で、紫外線処理整備費補助金を概算要求しているとのこと。

その結果、紫外線処理施設の導入を検討しているが、変更認可は、4月以降になる予定。

### 下水道料金改定について

12月定例会に上程する予定であったが、供用が始まって間がないことや住民周知が必要なことから、来年度までは、現行料金のままでよいと考え、改定に当たっては、審議会

を編成して審議するのが適当と考えている。

### 町営住宅(ハイツあゆみ)の工事進捗状況

第二工区建設工事は、設計において想定した以上に地盤の転石があり、先行堀とそれに付随する対策検討等が必要となり、約3ヶ月の遅れが見込まれる。

## 厚生経済常任委員会

### 山野里工業団地造成事業

12月定例会において可決された土地譲渡をもって残地はなくなる。これに伴い平成19年度に公園内の残土処分、整備を行った後、当特別会計及び関係条例等を廃止する予定である。

### 「モロヘイヤ入りかき餅」商品化へ!!

本年度の特産品は「上郡町かき餅加工グループ」による「モロヘイヤ入りかき餅」と決定している。閑谷学校・白旗城まつりにおいて試食、販売を行い、アンケート調査を

完成が待たれる「ハイツあゆみ」



実施した。今後、名物検討委員会、パッケージ、商品名、価格等の検討を行い商品化する予定。

### 農業振興審議会

委員に全会一致で田舘議員を選任しました。

### 地域包括支援センターの役割と業務

介護保険制度の改正に伴い給付費が増大している要支援要介護1の方の介護給付費を予防により抑えるため、予防重視型の制度への転換がなされ、地域包括支援センターの設置が義務付けられた。



思い出っばいの中学校



藤本 祐規 議員

## 現場第一主義の姿勢で 基本姿勢について

**問** 多くの難問を抱えた上郡町において極めて重要なものは、町民のために実効ある施策を

実現化させる強いリーダーシップと実行力だと思う。リーダーは、町民それぞれの立場に立って物事を考え、そして、色んな角度から物事を判断していく事が求められる。これからの上郡町を運営していく上で、第一に何を考え何を重視するのか伺う。

**答** 基本姿勢は町民の方を向き、町民の為の仕事をする。町民の意見に真摯な姿勢で耳

を傾け、勇気を持って判断し決断していく。勇猛果敢にやる。

**問** 政治家は町民の前で発した言葉を実行する事が町民に対する礼儀であり、責務である。自分の発言した事には責任を持ち、誠実に取り組んでいく事が強く求められるが、いかががお考えになるか見解を

**答** 町民と常に対話をしていく事を心がける。そして、徹底した情報公開をし、あらゆる情報を出来るだけ早く開示していく。説明責任はしっかりとやっていく。

なにして、あそぶ？



その役割は、多面的、総合的な高齢者支援であり、主な業務は、総合相談、権利擁護事業、要支援1・2の方のケアプラン作成等。

湯田温泉上郡荘でのデイサービス実施状況は18年10月末現在で、延人数101名、登録人数25名となっている。

### 町ぐるみ健診受診状況

対象者を20歳以上として、毎年6月から7月にかけて実施しており、受診者総数は3

038名で昨年と約同数となっている。



## 千種川床上浸水対策 特別緊急事業特別 委員会を設置

事業に対し、議会としてあくまでも協力体制を整える必要があるため、特別委員会を設置しました。

- |      |           |
|------|-----------|
| 委員長  | 田 淵 重 幸   |
| 副委員長 | 由 田 五 千 雄 |
| 委員   | 橋 本 正 行   |
|      | 藤 本 祐 規   |
|      | 阿 部 昭 人   |
|      | 高 尾 正 勝   |
|      | 沖 上 正 治   |
|      | 村 上 昇     |



## 臨時議会

1月16日臨時議会において農業委員会委員（学識委員）を選出いたしました。

- |       |     |     |
|-------|-----|-----|
| 小寺政広氏 | 與井  | 59才 |
| 池本秀實氏 | 金出地 | 62才 |
| 横山勝之氏 | 大技新 | 78才 |
| 湯朝鴻吉氏 | 船坂  | 67才 |

いじめ根絶へ対策急げ

いじめる側が  
100%悪い

**問** 学校教育の目的は「子供の幸せ」の為にある。しかし



阿部 昭 議員

全国的にいじめによる子供達の事件の何と多いことか。全ての子供達にとって学校は安全で安心して楽しめる場所であればなりません。今やいじめ問題は大きな社会問題ととらえ、教育者だけの責任と決めつけず、行政と地域全体で考えていく時と思います。そこで本町でのいじめの現状はどうなのか、調査はされているのか、今後どのように取

り組むのか質問致します。

**答** ご指摘のように再生会議からの8項目にわたる緊急提言が届いております。学校、教育委員会、保護者、地域と総がかりで取り組んで参ります。いじめ対策マニュアルを出すよう調整しております。早期発見の為の窓口、被害者への対応、加害者への対応、傍観者への指導等、本格的に取り組んで参ります。本町の実態は4月に一件報告を受け対応しております。

早寝、早起き、朝ごはん

朝ごはん

**問** いじめが社会問題になってきた背景に子供達の生活リズムの乱れがあると言われております。我が党では「早寝、早起き、朝ごはん」を広めますが所見をお願いします。



● 小中一貫教育の推進  
● 消防広域化への対応

その他の質問

公約の実現こそ町政への信頼回復策

町政への信頼回復を

**問** 町長選挙では、圧倒的多数の町民が将来の町づくりを山本町長に託した。しかし、



工藤 崇 議員

投票率が過去最低であった。町政の信頼回復は急務である。

公約実現への姿勢を問う

**問** 町長の公約に対する姿勢を述べられたい。

**答** ● 合併問題

合併協議を迅速化し、6月までに「合併の期日」等の重要項目を粗上に上げたい。住民投票は赤穂市と同時に実施したい。

● 学校・高齢者給食

何が何でもやりたい。しかし合併協で上郡向けに「合併後3年目途に第2給食センターの建設と指定管理者制度の検討」が決まっている。それに対応し、食育も重視した医食同源の給食を強力に進めていく。



きょうのメニューは

● J・R利便性回復問題  
上郡町の将来の夢と上郡駅も含めJ・Rを大事に育成するという共通の考え方を町民と共有し、取り組みたい。

その他の質問

● 千種川改修と中学校移転の期限内完了を。



松本行人 議員

**問** 公約どおり赤穂市との合併は間違いないのか。

迅速に……とは

## 赤穂市との合併は公約どおりか！ 「公約どおりすすめる」

**答** 赤穂市との合併については間違いないと思っています。

**問** 赤穂市との合併を迅速に決着させると公約をされていますが、間違いないですか。

**答** 豆田市長、助役、議長、副議長さんと話し合いをさせていただいておりまして、合併については迅速に進めていこうじゃないかという基本的な話については合意したと思

っています。19年6月ごろには新しい市の姿というものがあある程度、アンケート調査に耐えるだけのようなものができるとは期待していません。後ろからの計算をしていますが、それでもあと半年ほどしか余裕がないという感じがいたしております。というものは新法の期限内という意味なんです。



ここまで進んでいる

**問** 合併協議会を今後どのように進めていくのか。

**答** 協議会につきましては、私の方からある程度指示をしなければと思っています。市長選を待つということではなしにやらないと、もう今でもおくれ、おくれしていますので、やりたいと思っています。



小寺政広 議員

**問** 町の未償還額は、17年度末で246億円、一時借り入れは15億円余り。ふるさと創

246億円

## 職員と一体となる行政推進を

生基金、JAふれあい基金はすでに使い切り、学校給食は実施されていません。

安全で安心な町にかかせない防災行政無線も長年の課題でありながら未だに設置されていません。

これからの負の遺産を解消し時代や隣接市町に追いつくためには、町長の強い意気込みと職員と一体となる行政推進が不可欠であり決意をお聞

きします。

**答** 負の遺産については、私はその責任をとって解決する方向でやっていきたい。

それと行政改革の断行をやっていききたい。それから、上郡町自身の財政基盤をきちっと強化していく。自分たちの足元の力をもっと強めるようにやっていきたい。

わだち

**問** 前町長の轍は踏まないよ

うにしてもらいたい。人事について町長の考えを尋ねます。  
**答** 若干の職員の方を知っています。しかし、すべては知りません。そんなものが人事異動をして何になりますか。これまでに積み重ねてきた方々ですし、それぞれに力がある方です。それを信頼してやっていこうと思っております。職員の方々の資質なりを勉強させていただきたい。  
3月31日までは動かす気はありません。



### 公約の具体的な構想は？

#### 「これからいろいろ勉強する」

#### 選挙公約の検証

**問** 公約では赤穂市との合併協議の迅速化としながら、当

選後は「1年以内に方向性」、「合併は相手のある問題」など積極的姿勢からかけ離れている。なぜか。

**答** 時間や情勢、場所が変わったからだが、趣旨は同じである。この合併は的確に進めていく。

**問** 後援会申込書には「近隣市との合併」とあった。選挙間近になって「赤穂市との合

併」になったのはなぜか。

**答** 長期的な見通しから当時は、にしほりま地域全体の中で考えていた。多くの町民が赤穂市との合併を望んでいるという雰囲気を感じ、赤穂市と合併すべきと思った。

**問** 少子高齢化対策としての給食センターの具体的な構想は。

**答** 赤穂市との合併問題をふまえ、これからいろいろなことを勉強しながらやっていきたい。

**問** JR上郡駅の利便性向上

について

**答** 理論武装して要望していくが非常に難しい。私一代ではできないが町民全体の意志として続ける。

#### 確認書についての所見は？

**問** ごみ処理計画でとり交わされた確認書では、市町合併に伴い11年後脱退する市がでてくるかもしれないという状況がある。上郡町も確認書を



あと何年つくるのかな

### 行財政改革はいかに？

#### 「実施後の評価もやる」

**問** 全国に財政破綻寸前の自治体が30、その予備軍が40

0ほど。町長選挙であなたの公約にもなっている「果敢な

行財政改革の推進」に取り組み町長の抱負を。

**答** 冷静に立案、実施、評価をする。この繰り返しで行きたい。

**問** 来年度予算編成に当って、起債について町長自身の考えを聞きたい。

**答** 交付税算入を考慮して、起債はバランスを考えていく。要するに身の丈に合った仕事

をする。後世に付けを回すやり方はしない。

#### 首長の姿勢は

**問** 3県の知事が官製談合の容疑で連続的に逮捕された。

それを評して前宮城県知事の浅野史郎氏は、「腐敗・談合の構造は選挙のやり方から」といつているが、町長はどう思うか。

**答** 8割ほどは最初からの繋がり、2割は当選してからの



赤松初夫 議員



ご苦労さまでした隅見橋

ようだ。私の選挙については、従来とは変えた。その中身は調べてもらえば結構。

**問** 町長の退職金廃止をどのように実現するか。

**答** 兵庫県市町村退職手当組合に入っており、上郡町単独ではどうにもならないと分かった。今やめたと言うのではない。不可能に近いと思うが、皆さんの意見も聞きこの問題を再度協議したい。知らなかったことを責められれば、そのまま受け止め謝る。